

英語 センター試験 2017 講評

あすなろ学院 英語科

<筆記> (総英単語数 4288→4335) (200 点) 易化、やや易レベル

出題傾向や総英単語数に大きな変化はない。第 5 問が難化しているが、他の問題は昨年並か易化しており、全体としては易化している。平均点は昨年より 10 点以上 up の 125 点前後と予想する。難しかった国語の試験に動揺し、その後の英語の試験で良い結果を出せなかった人がある。自分が解けなかったときは周りの人も解けなかったと考え、気持ちを上手く切り替えて後の試験に臨んで欲しい。

第 1 問 発音・アクセント (英単語数 28→28) (14 点) 昨年並、やや易レベル

A 問題 (発音) は、やや易レベル。カタカナ語が多い。B 問題 (アクセント) も、やや易レベル。やはりカタカナ語が多い。問 2 の enormous のアクセントは ous の 2 コ前ではない。アクセントルールと共にその例外もいくつか覚えておきたい。

第 2 問 文法 (英単語数 479→468) (44 点) 易化、やや易レベル

A 問題 (文法・語法・語彙) は、やや易レベル。B 問題 (語順並べ替え) も、やや易レベル。C 問題 (応答文の語句組み合わせ) は、標準レベル。速く解いて長文問題に時間を残したい。

第 3 問 長文 (英単語数 1131→1090) (41 点) 昨年並、標準レベル

A 問題 (対話文の穴埋め) は、標準レベル。B 問題 (文削除) も、標準レベル。それぞれ、「靴を選ぶ方法」「物資輸送方法」「忘れたことを思い出す方法」に関する話。C 問題 (意見要約) は、やや難レベル。市の発展方法を考える話。問 3 は新傾向であり、異なる発言の共通点を考えさせる問題である。family life という共通点がある②が正解だが、長文を読み直して確認するのに時間がかかる。消去法で考えれば、①②④が共通点ではないことは明らかであり、速く解ける。

第 4 問 長文 (英単語数 1015→1096) (35 点) 易化、やや易レベル

A 問題 (図表) は、やや易レベル。校庭の各場所における年齢別利用時間の話。図表が 2 つから 1 つに減った。B 問題 (広告) は、やや易レベル。ビデオ製作コンテストの話。計算問題が無くなった。

第 5 問 物語長文 (英単語数 877→832) (30 点) 難化、標準レベル

夢で猫になった話。斜体の *I* や *my* が、猫になった自分ではなく、猫を通して見ている人間の自分であることがわからないと、混乱する。国語(小説)が苦手な生徒が苦戦したようだ。

第 6 問 論説長文 (英単語数 758→821) (36 点) 昨年並、標準レベル

友情を長続きさせるための話。下線部の慣用表現の意味を選ぶ問題が 2 年ぶりに復活している。

<リスニング> (読上英単語数 1129→1145) (設問選択肢英単語数 576→502) (50 点) 難化 やや難レベル
読上速度は遅くて聞き取りやすいが、第 4 問 A が男性の低い声で聞き取りにくいかもしれない。第 3 問 B は新傾向であり、空所補充問題がなくなった。平均点は昨年より低く 30 点以下になると予想する。

第 1 問 : 短い対話イラスト数字選択(12 点) 問 5 の a third は thirty と聞き間違えても解けてしまう。

第 2 問 : 短い対話応答完成(14 点) 問 9 の Would you do that? は if you were me 省略の仮定法。

第 3 問 A : 対話内容把握(6 点) 問 14 の子どもの声がおっさんの声なので気持ち悪い。

第 3 問 B : 長い対話図表内容把握(6 点) 新傾向。昨年までの空所補充問題がなくなった。

第 4 問 A : モノローグ 長文内容把握(6 点) 問 20 は experiment(実験)から accident(事故)を連想すれば OK。

第 4 問 B : 3 人の長い会話内容把握(6 点) stationery(文房具)や pottery(陶器)などの難しい単語が出てくるが、別の会話部分から推測したり選択肢を消去法で選んだりすれば解くのは難しくない。